

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 1 区分

【発行日】平成 29 年 4 月 27 日 (2017.4.27)

【公開番号】特開 2015-206618 (P2015-206618A)

【公開日】平成 27 年 11 月 19 日 (2015.11.19)

【年通号数】公開・登録公報 2015-072

【出願番号】特願 2014-85775 (P2014-85775)

【国際特許分類】

G 0 1 P 15/00 (2006.01)

G 0 8 C 19/00 (2006.01)

G 0 1 C 19/5776 (2012.01)

【F I】

G 0 1 P 15/00 Z

G 0 8 C 19/00 H

G 0 1 C 19/56 2 7 6

【手続補正書】

【提出日】平成 29 年 3 月 23 日 (2017.3.23)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 4 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 4 0】

入力マルチプレクサー回路 1 1 は、タイミング制御回路 1 6 が出力する第 1 レート (1) のクロック信号に基づいて、慣性センサー 1 0 0 の検出軸のうち 1 つを選択して増幅回路 1 2 に信号を出力する。図 1 に示される例では、入力マルチプレクサー回路 1 1 は、スイッチ S W 1 N、スイッチ S W 2 N、スイッチ S W 3 N、スイッチ S W 1 P、スイッチ S W 2 P 及びスイッチ S W 3 P を含んで構成されている。スイッチ S W 1 N の第 1 端子は慣性センサー 1 0 0 の X 軸負端子 1 N に接続されている。スイッチ S W 2 N の第 1 端子は慣性センサー 1 0 0 の Y 軸負端子 2 N に接続されている。スイッチ S W 3 N の第 1 端子は慣性センサー 1 0 0 の Z 軸負端子 3 N に接続されている。スイッチ S W 1 P の第 1 端子は慣性センサー 1 0 0 の X 軸正端子 1 P に接続されている。スイッチ S W 2 P の第 1 端子は慣性センサー 1 0 0 の Y 軸正端子 2 P に接続されている。スイッチ S W 3 P の第 1 端子は慣性センサー 1 0 0 の Z 軸正端子 3 P に接続されている。スイッチ S W 1 N、スイッチ S W 2 N 及びスイッチ S W 3 N の第 2 端子は、増幅回路 1 2 の負入力端子に接続されている。スイッチ S W 1 P、スイッチ S W 2 P 及びスイッチ S W 3 P の第 2 端子は、増幅回路 1 2 の正入力端子に接続されている。入力マルチプレクサー回路 1 1 は、スイッチ S W 1 N とスイッチ S W 1 P、スイッチ S W 2 N とスイッチ S W 2 P、スイッチ S W 3 N とスイッチ S W 3 P を、第 1 レート (1) のクロック信号に応じて順次切り替えることによって、慣性センサー 1 0 0 の検出軸のうち 1 つを選択して増幅回路 1 2 に信号を出力する。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 4 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 4 4】

ハイパスフィルタ 1 5 は、タイミング制御回路 1 6 が出力する第 1 レート (1) のク

ロック信号に基づいて、ローパスフィルター 14 の出力信号をハイパスフィルター処理して、慣性センサー 100 の出力信号に基づき物理量（本実施形態においては加速度）に応じた検出信号を出力する。